

熱中症対策について

- 1 WBG T測定器により、会場内の熱中症危険度を把握しながら進めます。
- 2 各チームで氷、氷のう、保冷剤、クーラーボックス、バケツ、おしぼり、経口補水液等の準備を充分にしてください。なお、大会本部でも経口補水液については準備いたします。また、手持ちの扇風機やうちわなども必要に応じて準備をお願いします。
- 3 守備の時間が連続で15分以上になる場合、各球場主任、審判主任で判断し、3分程度の給水タイムを設けます。
- 4 攻撃から守備につく際は十分に水分補給をさせてから、グラウンドに出るようにしてください。（なお、審判員におかれましては、選手の健康面を考え、1分以内での攻守交代を急がせないようご協力をお願いいたします。）
- 5 連続する試合は、試合（表彰）終了40分後にベンチ入りとしておりますが、気温の上昇具合によっては、ベンチ入り時間について大会本部で連絡しますので、指示に従ってください。
- 6 大会期間中は、救護室を用意しています。また、試合を待つバスや自家用車で休憩するチームもあるかと思いますが、長時間冷房の効いた場所から猛暑のグラウンドに出る際、温度差で体調を崩して、熱中症を引き起こしてしまうこともありますので、選手たちの様子をよく観察していただきますようお願いいたします。
- 7 体調不良やケガなどにより、救急車を呼ぶ際は、必ず、本部にもお知らせください。